

## 学校調査票

### 「学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」調査票

※アンケートの内容は次のとおりです。  
(実際はタブレットやパソコン等から回答します。)

#### I. 基本情報

問1. 貴校の校種を教えてください。

1. 小学校
2. 中学校・中等教育学校（前期課程）
3. 高等学校・中等教育学校（後期課程）

問2. ご回答された方の役職をお教えてください。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 指導教諭・主幹教諭
4. 教諭
5. 養護教諭
6. 助教諭・講師
7. スクールカウンセラー（以下SC）
8. スクールソーシャルワーカー（以下SSW）
9. その他（ ）

問3. 貴校の所在地をお教えてください。

- |         |           |           |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 徳島市  | 9. 勝浦町    | 17. 海陽町   |
| 2. 鳴門市  | 10. 上勝町   | 18. 松茂町   |
| 3. 小松島市 | 11. 佐那河内村 | 19. 北島町   |
| 4. 阿南市  | 12. 石井町   | 20. 藍住町   |
| 5. 吉野川市 | 13. 神山町   | 21. 板野町   |
| 6. 阿波市  | 14. 那賀町   | 22. 上板町   |
| 7. 美馬市  | 15. 美波町   | 23. つるぎ町  |
| 8. 三好市  | 16. 牟岐町   | 24. 東みよし町 |

問4. 調査対象（小学校6年生、中学校全学年、高等学校全学年）の児童生徒総数をお教えてください。（令和4年7月1日時点）

（ ）人

**Ⅱ. 支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。**

**SC、SSWの派遣・配置状況をお伺いします。**

**問5-1. SCの派遣・配置状況について教えてください。**

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. 派遣・配置されていない
6. その他 ( )

**問5-2. SSWの派遣・配置状況について教えてください。**

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. 派遣・配置されていない
6. その他 ( )

**問6. 下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。**

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
11. 校納金が遅れる、未払い
12. その他 ( )

**問7. 問6のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。最も多いケースでご回答ください。**

1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している ( →問8 )
2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している ( →問8 )
3. 個別に対応している(決まった検討体制はない) ( →問9 )

問8-1. 問7で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、  
「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と  
回答した方にお伺いします。校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討  
を行っていますか。

1. スクリーニング会議※
2. ケース会議
3. 生活指導部・委員会など
4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有
5. 教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議  
開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動  
する教職員の配置・指名
6. その他 ( )

※スクリーニング会議…すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに  
基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を  
行う会議。

問8-2. 問8-1で「1. スクリーニング会議」と回答した方にお伺いします。どの教職  
員が参加していますか。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 学級担任
5. 生活・生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SC
8. SSW
9. 外部の関係機関
10. その他 ( )

問8-3. 問8-1で「1. スクリーニング会議」と回答した方にお伺いします。会議の頻  
度はどれくらいですか。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

問 8-4. 問 8-1 で「2. ケース会議」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 学級担任
5. 生活・生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SC
8. SSW
9. 外部の関係機関
10. その他 ( )

問 8-5. 問 8-1 で「2. ケース会議」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

問 8-6. 問 8-1 で「3. 生活指導部・委員会など」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 学級担任
5. 生活・生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SC
8. SSW
9. 外部の関係機関
10. その他 ( )

問 8-7. 問 8-1 で「3. 生活指導部・委員会など」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

問 8-9 問 8-1 で「6. その他」と回答した方にお伺いします。具体的にどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

【自由記述】

問 8-10. 問 8-1 で「6. その他」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 学級担任
5. 生活・生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SC
8. SSW
9. 外部の関係機関
10. その他（                      ）

問 8-11. 問 8-1 で「6. その他」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

問 9. 問 7 で「3. 個別に対応している（決まった検討体制はない）」と回答した方にお伺いします。問 6 のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えてください。

【自由回答】

問 10. 問6のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。  
次のケースについてお答えください。

- ① 要保護児童対策地域協議会の登録ケース
- ② 不登校のケース
- ③ それ以外

問 10-1. 「①要保護児童対策地域協議会の登録ケース」について、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。

- 1. ある
- 2. ない

問 10-2. 問 10-1 で「1. ある」と回答した方にお伺いします。どの機関と連携しましたか。

- 1. 市区町村教育委員会
- 2. 市区町村の福祉部門（4を除く）
- 3. 市区町村の保健部門
- 4. 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門
- 5. 教育支援センター（適応指導教室）
- 6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
- 7. 児童相談所
- 8. 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
- 9. 障がい者相談支援事業所
- 10. 民生委員
- 11. 病院
- 12. 警察や刑事司法関係機関
- 13. その他（ ）

問 10-3. 「不登校のケース」について、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。

- 1. ある
- 2. 特にない

問 10-4. 問 10-3 で「1. ある」と回答した方にお伺いします。  
どの機関と連携しましたか。

1. 市区町村教育委員会
2. 市区町村の福祉部門（4を除く）
3. 市区町村の保健部門
4. 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門
5. 教育支援センター（適応指導教室）
6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
7. 児童相談所
8. 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
9. 障がい者相談支援事業所
10. 民生委員
11. 病院
12. 警察や刑事司法関係機関
13. その他（   ）

問 10-5. 「要保護児童対策地域協議会の登録ケース」や「不登校のケース」以外のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 10-6. 問 10-5 で「1. ある」と回答した方にお伺いします。  
どの機関と連携しましたか。

1. 市区町村教育委員会
2. 市区町村の福祉部門（4を除く）
3. 市区町村の保健部門
4. 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門
5. 教育支援センター（適応指導教室）
6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
7. 児童相談所
8. 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
9. 障がい者相談支援事業所
10. 民生委員
11. 病院
12. 警察や刑事司法関係機関
13. その他（   ）

### Ⅲ. ヤングケアラーについてお伺いします

問 11. 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

- |                                |         |
|--------------------------------|---------|
| 1. 言葉を知らない                     | (→問 14) |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない      | (→問 14) |
| 3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない | (→問 14) |
| 4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している    | (→問 12) |

問 12. 問 11 で「4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

- |                                       |         |
|---------------------------------------|---------|
| 1. 把握している                             | (→問 13) |
| 2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない | (→問 14) |
| 3. 該当する子どもはいない(これまでもいなかった)            | (→問 14) |

問 13. 問 12 で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

- |  |
|--|
| 1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている             |
| 2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している |
| 3. その他 (                    )                |



ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします。  
 ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。

## ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声掛けなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : izumi shiga

問 14. 現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。

1. いる (→問 15)
2. いない (→問 17)
3. 分からない (→問 16)

問 15-1. 問 14 で「1. いる」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声掛けをしている
5. 家族の通訳をしている（日本語や手話など）
6. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
7. 病気の家族の看病をしている
8. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
9. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
10. その他（ ）

問 15-2. 問 14 で「1. いる」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（教育委員会、役所、要保護児童対策地域協議会など）の支援につないだケースはありますか。

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある
2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある
3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）

問 15-3(①). 問 15-2 で「1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」と回答した方にお伺いします。直近のケースについてお教えてください。

問 15-3(①-1). ケースの性別についてお教えてください。

1. 女性
2. 男性
3. その他

問 15-3(①-2). ケースの学年についてお教えてください。

1. 小学（ ）年
2. 中学（ ）年
3. 高校（ ）年

問 15-3(①-3). ケースの学校生活の状況についてお教えてください。

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
11. 校納金が遅れる、未払い
12. その他（ ）

問 15-3 (①-4). ケースの家族構成についてお教えてください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ( )

問 15-3 (①-5). ケースの家庭におけるケアの状況を把握していますか。

1. 把握している
2. 把握していない

問 15-3 (①-6). ケアの状況を「把握している」と回答した方にお伺いします。ケアを必要としている人についてお教えてください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ( )

問 15-3 (①-7). ケアを必要としている人の状況についてお教えてください。

1. 高齢 (65 歳以上)
2. 若い
3. 要介護 (介護が必要な状態)
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患 (疑い含む)
8. 依存症 (疑い含む)
9. 7、8 以外の病気
10. 日本語を第一言語としない
11. わからない
12. その他 ( )

問 15-3 (①-8). ケアの内容についてお教えてください。

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
2. きょうだいのお世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
7. 見守り
8. 通訳（日本語や手話など）
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. わからない
12. その他（                    ）

問 15-3. (①-9). ケースがヤングケアラーと気づいた理由・きっかけについて、具体的にお教えてください。

【自由記述】

問 15-3. (①-10). 要保護児童対策地域協議会への通告ルートについてお教えてください。

1. 市区町村教育委員会経由
2. 学校から直接連絡
3. その他（                    ）

問 15-3. (①-11). 学校で行った支援について、要対協との連携も含めて具体的にお教えてください。

【自由記述】

問 15-3. (①-12). 支援による子どもの変化について、具体的にお教えてください。

【自由記述】

【自由記述】

問 15-3 (②). 問 15-2 で「2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」と回答した方にお伺いします。直近のケースについてお教えてください。

問 15-3 (②-1). ケースの性別についてお教えてください。

1. 女性
2. 男性
3. その他

問 15-3 (②-2). ケースの学年についてお教えてください。

1. 小学 ( ) 年生
2. 中学 ( ) 年生
3. 高校 ( ) 年生

問 15-3 (②-3). ケースの学校生活の状況についてお教えてください。

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
11. 校納金が遅れる、未払い
12. その他 ( )

問 15-3 (②-4). ケースの家族構成についてお教えてください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ( )

問 15-3 (②-5). ケースの家庭におけるケアの状況を把握していますか。

1. 把握している
2. 把握していない

問 15-3(②-6). ケアを必要としている人についてお教えてください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他 ( )

問 15-3(②-7). ケアを必要としている人の状況についてお教えてください。

1. 高齢 (65 歳以上)
2. 幼い
3. 要介護 (介護が必要な状態)
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患 (疑い含む)
8. 依存症 (疑い含む)
9. 7、8 以外の病気
10. 日本語を第一言語としない
11. わからない
12. その他 ( )

問 15-3(②-8). ケアの内容についてお教えてください。(すべて選択)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート (愚痴を聞く、話し相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳 (日本語や手話など)
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. わからない
12. その他 ( )

問 15-3(②-9). ケースがヤングケアラーと気づいた理由・きっかけについて、具体的にお教えてください。

【自由記述】

問 15-3 (②-10). つないだ機関について、具体的にお教えてください。

【自由記述】

問 15-3 (②-11). 外部機関へのつなぎ方についてお教えてください。

1. 市区町村教育委員会経由
2. 学校から直接連絡
3. その他 ( )

問 15-3 (②-12). 学校が行った支援等について、つなぎ先との連携も含めて具体的にお教えてください。

【自由記述】

問 15-3 (②-13). 支援による子どもの変化について、具体的にお教えてください。

【自由記述】

問 15-4. 問 15-2 でヤングケアラーと思われる子どもについて、「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」と回答した方にお伺いします。外部の支援につながらなかった理由を教えてください。また、どのように対応しているのかお教えてください。

【自由記述】

理 由 ( )  
対応方法 ( )

問 15-5. ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

【自由記述】

問 15-6. ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

【自由記述】

問 15-7. 問6の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したのですが、追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

【自由記述】

ご意見 ( )  
変更項目案 ( )  
追加項目案 ( )

〈参考：問6の選択肢〉

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
11. 校納金が遅れる、未払い



問 16. 問 14 で貴校におけるヤングケアラーと思われる子どもについて「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。その理由をお教えてください。

1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が低いいため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他（                      ）

問 17-1. ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
2. 教職員がヤングケアラーについて知ること
3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
4. SCやSSWなどの専門職の配置が充実すること
5. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
9. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
10. 福祉と教育の連携を進めること（具体的に：問 17-2 へ）
11. 特になし
12. その他（                      ）

問 17-2. 問 17-1 で「10. 福祉と教育の連携を進めること」と回答した方にお伺いします。支援のために必要なことを具体的に教えてください。

【自由記述】

問 18. ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

【自由記述】

アンケートは以上で終了となります。

ヤングケアラーの子どもは、「宿題や忘れ物が多い」「授業中に疲れて眠ってしまう」といった普段とは違う様子が見られることに学校の先生が気づいたことで、支援につながる例が数多くあります。子どもがケアを担っている家庭には、それぞれ様々な事情があり、適切な支援を行うにはスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、要保護児童対策地域協議会などに加え、医療や介護、福祉分野の関係機関との連携も必要となるかもしれません。ヤングケアラーを支援するための仕組みづくりは多くの自治体で緒に就いたばかりかと思いますが、子どもたちの権利が守られるよう、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

アンケートにご回答いただき、誠にありがとうございました。